



緩和ケアだより

緩和ケアセンタースタッフよりごあいさつ

3月をもって退職することとなったスタッフがおりますのでご挨拶申し上げます。お世話になりました。



石川 栄子 看護師長

皆様には大変お世話になりました。病棟勤務をはじめ、病院再開発に伴うベッドコントロール担当、外来勤務とベッドコントロール兼務、中央材料部とベッドコントロール兼務、第8次病院情報システム更新に伴う中央材料部・SPDセンターのシステム導入と院内への定着、入院前支援の立ち上げ、緩和ケアセンターと多くの部署の皆様のご協力とご支援をいただきましたことは、私にとって大きな財産となっております。また、「がん患者さんの苦痛を少しでも楽にして、最期には『いい人生だった』と患者さんと家族が思えるようにできる看護師になりたい。」と看護師を志した私が、緩和ケアセンターで勤務を締めくくれたことに縁を感じておりました。

最後になりますが、今後の皆様のご健勝とご活躍、そして皆様への心よりの感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



三浦 京子 副看護師長

私が緩和ケアに携わることになったのは約14年前でした。スタートは緩和ケアチームで、専従スタッフは看護師の私1人という状況が数年続きましたが、がん医療、緩和ケアを取り巻く情勢が刻々と変わり、現在は緩和ケアセンターとして人員も増え、多くの仲間にも恵まれながら活動することができました。そして、この立場にならなければ経験できなかったこと、知り得なかったことがたくさんあり、今後の糧となる貴重な財産となりました。ご迷惑をおかけしたこと、十分な役割を果たせなかったことも多々あると思いますが、未熟で力不足な私に重要な役割を任せていただき、見守って下さった皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

先行きが不透明で不安定な状況が続く中で、医療の現場で働き続けることは本当に大変だと思いますが、秋田大学医学部附属病院の皆様の健康と益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

～ 研修動画掲載のお知らせ ～

疼痛緩和はオピオイドだけじゃない!!

①「がんの痛みに対する神経ブロック」

麻酔科 山本 夏子 助教

②「緩和的放射線治療(緩和照射)」

放射線治療科 和田 優貴 講師

左記2件の疼痛緩和の動画を、病院情報システムに掲載しております。患者さんの日々の疼痛緩和にお役立てください。

今年度も、緩和ケアセンターの活動にご協力いただきありがとうございました。次年度もよろしくお願いたします!

